

令和元年6月部長会議 会議録（要旨）

- ◇日 時 令和元年5月29日（水） 午前8時35分から午前10時
- ◇場 所 市役所第一庁舎5階 庁議室
- ◇出席者 市長、副市長、教育長、上下水道事業管理者、総務部長、企画政策部長、財政部長、地域・市民生活部長、保健福祉部長、保健所長、こども未来部長、環境部長、商工観光部長、文化スポーツ振興部長、農林部長、建設部長、都市整備部長、会計局長、教育次長（行政及び教育）、上下水道局長、議会事務局長、危機管理防災監、公有財産活用局長、市長公室長及び関係課職員

◇会議内容

<市長あいさつ>

- ・川崎市で小学生1名を含む2名の方がお亡くなりになるという大変痛ましい事件があった。被害に遭われた方にお見舞いを申し上げるとともに、亡くなられた方の御冥福を心からお祈り申し上げる。関係部局長は、地域の皆様の見守り等の御協力も得ながら、児童・生徒の安全の確保を図るようお願いする。
- ・本日早朝から非常招集訓練を行った。昨年も大雨による被害が発生していることから、常に危機管理意識を持ち、日頃から初動体制・対応の確認、見直しをしながら、災害に迅速かつ適切に対応できるよう心掛けてもらいたい。
- ・6月市議会定例会については、5月23日に告示し、明日30日に招集する。新年度の新たな体制となって最初の定例会であるので、市民の皆さんに分かりやすい答弁に努めるとともに、複数の部局にまたがる質問については横の連携を図り、協力して対応するようお願いする。
- ・県外で歩行者が巻き込まれる痛ましい交通事故が相次いで発生した。市内の交通事故の発生件数及び負傷者数は減少傾向にあるものの、毎年交通事故で亡くなる方が出ている。また、勤務中に職員が歩行者のからむ交通事故を起こしたことは近年ないが、不注意による物損事故は多い傾向にある。交通事故の多くは交差点で起きているので、右左折の際には常に歩行者に注意をするよう改めて徹底してもらいたい。
- ・今年度の各部局の目標等について部局長に対してヒアリングを実施し、5月9日までに全部局について終了した。ヒアリングの中で各部局における働き方改革への取組の話もしたが、不要な業務の廃止や業務の平準化などについて、部局長から具体的な進め方を示しながら取り組んでもらいたい。
- ・昨日阿部知事や長野県市長会・町村長会の役員と「しあわせ信州 生涯活躍応援宣言」をした。この宣言は、昨年9月に私と松本市長とで行った、75歳以上を高齢者とする新しい高齢者の定義についての共同提言を契機として、県知事、県内全市町村長との連名で行ったものである。この宣言の趣旨は、「活躍と健康の好循環」を生み出し、年齢にかかわらず、希望に応じて、いきいきと活躍できる社会の構築を目指そうとするものである。今後、各部局において何らかの形でこの趣旨に基づいた事業の企画、実施をお願いしたい。

1 報告事項

(1) 令和元年度包括外部監査の監査テーマについて（総務部）

標記事項について、総務部長から報告を行った。（資料1参照）

○質疑なし

(2) 清泉女学院大学・清泉女学院短期大学との包括連携協定の見直しについて

（企画政策部）

標記事項について、企画政策部長から報告を行った。（資料2参照）

○質疑なし

2 協議事項

(1) 小規模な公の施設整備における公民連携（PPP）手法について（総務部）

標記事項について、総務部長から説明し、協議を行った。（資料3参照）

○質疑なし

○今後の方向性

原案を了承。

(2) 飯綱高原観光施設整備について（商工観光部）

標記事項について、商工観光部長から説明し、協議を行った。（資料4参照）

○質疑

〔財政部長〕 飯綱高原観光施設全体の整備計画や山の駅の収支計画については、いつ頃庁議に諮る予定か。

〔商工観光部長〕 6月の政策会議に諮る予定で準備をしている。

〔財政部長〕 山の駅の整備に係る予算は令和2年度当初予算に盛り込む予定か。

〔商工観光部長〕 今年の12月定例会に債務負担行為を設定する補正予算案を提出する予定である。

〔市長〕 山の駅の提案募集の際に飯綱高原観光施設全体の計画は示されるのか。

〔商工観光部長〕 全体計画を示した上で提案募集を行う予定である。

〔市長〕 提案の優劣はどこで審査するのか。

〔商工観光部長〕 PFI事業等審査委員会で審査していただく。

〔副市長〕 提案募集の際には要求水準書を示していくと思うが、その中では、飯綱高原観光施設全体の中での山の駅の位置付けや他の観光施設との連携を含めた提案を募るということでよいか。

〔商工観光部長〕 小天狗の森キャンプ場や大座法師池周辺との連携も含めた提案を募集する。

○今後の方向性

原案を了承。

(3) 鬼無里ふるさとの館・若者コミュニティセンター（たんぽぽ）廃止について （商工観光部）

標記事項について、商工観光部長から説明し、協議を行った。（資料5参照）

○質疑

〔財政部長〕 施設の跡地利用についてはどのような計画か。

〔観光振興課長〕 鬼無里ふるさとの館の底地は借地なので、原状回復して地権者に返還する。若者コミュニティセンターの底地は市有地であるため、未利用地等活用検討委員会で検討していきたい。

〔財政部長〕 鬼無里ふるさとの館は解体・撤去費用が高額となるが、解体撤去について地権者等から要望があったのか。

〔観光振興課長〕 地元要望に基づくものではないが、倒壊のおそれもあるため、解体撤去する必要がある。市で解体した場合でも、解体で出る梁等は古材として売却できそうなので、解体費用を圧縮できると考える。

〔副市長〕 市が解体して古材を売却するのではなく、古材の購入希望者を公募して解体してもらえばどうか。

〔商工観光部長〕 まずは建物の購入希望者を公募し、応募がない場合は市で解体撤去していく方針だが、公募の仕方については更に検討する。

○今後の方向性

原案を了承。

(4) 市有施設への太陽光発電システムの設置について（環境部）

標記事項について、環境部長から説明し、協議を行った。(資料6参照)

○質疑

〔財政部長〕売電価格が下がっているので、設置費用を回収するには50年もかかる計算となり、太陽光発電システムの設置は採算が合わなくなっている。第5次長野市役所温暖化防止実行計画における太陽光発電システムの設置目標は達成しているのに、新規市有施設には原則設置という方針の運用を修正してもらおうと環境部と協議した。費用対効果等を勘案してもなお設置する必要があるものについては設置するという運用になると考える。

〔市長〕費用対効果の観点は大切なので、現実的な対応をしていく必要がある。市が設置するのではなく、設置を希望する事業者が市有施設の屋根を貸すような方法も検討してはどうか。

〔教育長〕モデル的なものがあれば環境学習に活用できるので、環境学習のためであれば、規模が大きなものでもよいし、全ての学校に設置することまでは必要ないと思う。

〔保健所長〕全国的にも、太陽光発電システムの設置は抑制傾向なのか。

〔環境保全温暖化対策課長〕民間企業では全量売電から自家消費型に主流が移っているが、設置意欲はまだまだ旺盛のようだ。一般家庭でも、現在の売電価格でも設置費用は回収できるので設置件数は減っていない。

〔保健所長〕コストの議論も大切だが、温暖化対策も推進していかなければならないと考える。方針の運用の変更については、温暖化対策が後退したとの印象を持たれないよう丁寧な説明が必要と考える。

〔財政部長〕温暖化対策を後退させるものではないが、目標は達成できたので、設置ありきという運用を見直すということだと思う。次期計画を策定するときに新たな設置目標を議論すればよいと考える。

○今後の方向性

原案を了承。

3 その他

(1) 働き方改革への取組について(総務部)

標記事項について、総務部長から説明を行った。(資料7参照)

○質疑

〔副市長〕繁忙期が固定している部署の中には、全庁的な取組として、その部署に事務を依頼する時期を早めることにより業務の平準化が図れるものもあるので、そのような部署の仕事の仕方を優先的に見直すべきである。また、年度当初が極端に繁忙になる部署の職員の人事異動は、なるべく別の時期に行っているが、それを更に進める必要があると考える。時間外勤務を減らすことが働き方改革の目的ではないので、柔軟な発想で従前の働き方の見直しを行うこと。

〔総務部長〕今の指摘も踏まえた内容で全庁に通知する。業務の廃止、見直しを進めないと抜本的な解決にはならないと考える。

〔副市長〕部局内だけでは改善できない課題もあるので、そのような課題については全庁的な見直しを図る必要があると考える。

(2) 決算の審査の見直しについて(議会事務局)

標記事項について、議会事務局長から説明を行った。(資料8参照)

○質疑なし

以上